

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：高等学校費 目：教育振興費

事業名 学校農場基盤整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 産業教育係 電話番号：058-272-1111 (内 3881)

E-mail：cl7782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,115 千円 (前年度予算額：5,398 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,398	0	0	0	3,448	0	0	0	1,950
要求額	5,115	0	0	0	3,165	0	0	0	1,950
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

農場の基盤を整備することで、生産の効率化を図り、生産性の向上に資するとともに、生徒の実験実習における安全を確保する。

(2) 事業内容

郡上高校の農場において、水田圃場の改良整備、実習生産物販売所スロープ設置、圃場給水設備の改良、温室付近の舗装一部撤去工事を実施。

<過去3年間の整備実績>

年度	学 校	整 備 内 容
H30	岐阜農林	水田の用排水口整備、梨園排水路の整備、貯水桝改修
R 1	大垣養老	堆肥置き場改修、浄化槽撤去及び擁壁設置、緊急排水ポンプ付近排水路改修
R 2	加茂農林	農場排水路整備、排水暗渠の設置、農場道路舗装

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	5,115	①水田圃場の改良整備 ②実習生産物販売所スロープ設置 ③圃場給水設備の改良 ④温室付近の舗装一部撤去
合計	5,115	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 んふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成
目標5 産業教育の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
安全に実験実習を行うため、学校農場の水路や道路、のり面の未整備箇所や老朽箇所の整備を行う。
また、近年増加している動植物見学や農場生産物購入のための来校者の安全性、快適性を確保するためにも、学校農場等の環境整備を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				(前々年度末時点)		
整備事業実施校数	(S)	1校 (H29)	1校 (H30)	1校 (R1)	1校 (R3)	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
加茂農林高等学校農場整備
工事内容 農場排水路整備工事、排水暗渠設置工事、アスファルト舗装工事

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
- ・農場排水路にグレーチングを設置したことにより、作業員や農業機械が排水路上に乗った場合においても、安全かつ効率よく作業ができる実習環境が実現できた。
- ・圃場土中に暗渠を埋設し排水路を敷設したことにより、圃場の排水が改善され、栽培する農作物の生育が改善されるとともに、圃場の水はけが早くなったことにより作業員の滑り、転倒等の危険性が改善されるなど安全対策を講じることができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	生徒、教職員が安全に実験・実習を行うため、また、施設設備の環境整備を行い近隣地域への安全・衛生面での配慮を確保するため。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	農場の基盤を整備することで、学校農場経営における農産物や資材等運搬の安全性が図られ、実験・実習時における安全が確保されるとともに、近隣地域への安全衛生面の配慮が図られている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	各校の農場の現状を把握し、計画的に実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 農業科における実験実習は、知識・技術の定着を図る上で大変重要であり、その実践の場である学校農場の整備は、計画的に行われる必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 実験実習の安全性を高めるため、また、開かれた学校づくりを一層推進するため、計画的に各校の整備を進める必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】
--	-------